

【教育目標】確かな学力を身につけ、心豊かでたくましい大平っ子の育成

【めざす児童像】

- 自ら学び、自ら考える子ども（知）
- 礼儀正しく思いやりのある子ども（徳）
- 心身ともにたくましい子ども（体）

我慢・忍耐・努力



大平小学校の ICT 教育推進について

10月を迎え、吹く風も涼しくなり、秋を肌で感じられるようになりました。教育活動を進めていく上でも、とても心地よい季節です。さて、大平小学校では、2学期に入り、この1ヶ月という短い期間で、急ピッチでタブレットの活用を進めてきました。1学期には、1週間のうち、数回程度のタブレット活用が、今では、ほぼ毎日の活用となっています。また、過日においては、御家庭にも協力していただき、タブレット接続テストや家庭から SKY メニューを用いた課題提出にも対応していただきました。現状、9割以上の御家庭で接続がうまくいき、タブレットを通して御家庭と学校とが繋がれることを確認しています。実際に、やむを得ず登校できない児童に対しては、先んじてタブレットを活用し、オンラインで授業に参加するケースもありました。

さて、国や市が推進するICT教育とは、いったい何なのでしょう。ICTとは「Information and Communication Technology」の略称で、情報通信技術のことを指します。そしてICT教育とは、教育現場において情報通信技術を活用した取組全般を指しています。例えば、紙の教科書の代わりにデジタル教科書を活用したり、電子黒板や動画を用いた授業を行ったりすることも、ICT教育の一例です。こうした教育活動は、「令和教育のスタンダード」として位置づけられています。また、教員の視点からは、ICT機器の活用により、指導ツールが格段に増え、これまで以上に子どものモチベーションをあげ、表現力や思考力を養うために、より興味深い授業展開が可能になると考えています。

ここで、実際にICTを活用した学習【5年生国語科】を紹介します。

5年生では、現在「たすねびと」という物語を学習しています。原子爆弾を投下された広島を題材にした戦争教材の一つです。物語を読み進める前に、まず教師は、電子黒板で物語に係る資料等を児童に提示します。実際に映像を見せることで物語をイメージしやすくしています。また、授業を進めていくうちに、子どもたちは、「原爆ドーム」や「平和記念公園」等にも興味を示します。ここでタブレットが登場し、Google ストリートビューを用いることで、広島市内の通りから、原爆ドームや記念公園を眺めることができます。物語を読み終えると5年生の児童たちは、更に、平和記念資料館や原爆供養塔についてももっと調査してみようと、タブレットを用いて独自に学習を進めていきます。5年生の担任からは「授業を重ねる毎に、子どもたちは関心を高めてタブレットを用いて、何らかの学習を進めようとしていた。」と聞いています。

ICT機器が効果的に活用できた事例を紹介しましたが、当然課題もあります。インターネットを利用するに当たっては、たくさんの情報が氾濫しているため、早急にそして確実に子どもたちの情報リテラシーを高めていく必要があります。また、情報技術が進化していくと同時にトラブル(SNS等)も増大しているため、時代に合った情報モラルを身につけていくことは必須です。学校としましては、ICT教育の推進と同時にこれらの課題解決のための努力を平行して行っていく必要があると考えています。大平小学校におけるICT教育推進に対しまして、保護者の皆様には、今後も御理解と御協力をお願いいたします。



スクールカウンセラーの紹介

スクールカウンセラーの川嶋雅子さんが、新規に大平小学校に勤めることになりました。勤務は、月末の水曜日の1日のみですが、お子様の教育に関することなど相談したいことがあれば、御活用ください。担任を通して、予約をしていただければ時間を確保させていただきます。

『表彰』について

成田空港周辺児童絵画展にて、1年生鈴木綾乃さんが佳作、口腔衛生ポスターで、4年生小林実香さんが1位を受賞しました。

税の標語で、6年生鶴澤千尋さん、加藤結月さんが入賞しました。

健歯児童審査会で、6年生岩瀬律樹さん、佐瀬もなみさんが、優秀の評価を受けました。

みなさん、おめでとうございます！

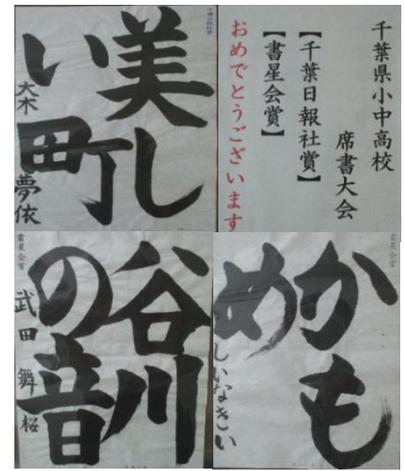


『県席書大会』について

令和3年度千葉県小・中・高校席書大会にておいて、大平小学校からは、3名の児童の作品が入選を果たしました。おめでとうございます。

千葉日報社賞 5年1組 大木 夢依 さん
 書星会賞 2年1組 椎名 希衣 さん
 6年1組 武田 舞桜 さん

なお、5年生 大木夢依さん、6年生 武田舞桜さんは、成田空港周辺児童書道展において、書道の部で、佳作を受賞しました。併せておめでとうございます。



『山武郡市児童生徒科学作品展』入賞者の紹介について

【金賞 2名】



5年1組 高知尾 俐穂さん 「カワセミの研究」【金】

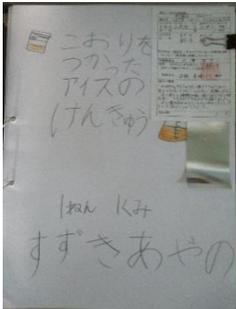
2年生の時から身のまわりの鳥を調べ、その際にカワセミを見つけ、生態や住んでいるところに興味を持ち、調べることにしました。カワセミがいた場所や行動パターン等を研究し、写真を活用してまとめました。



2年1組 椎名 希衣 さん 「わくわく森の楽しい夏休み」【金】

小さな頃から公園でどんぐりや松ぼっくりをよく集めていて、リースや小物を作ることが好きでした。磁石で遊んでいる時に磁石が色々な物につくことに興味を持ちました。そこで、木の葉や磁石の性質を組み合わせた楽しいおもちゃを作りました。

【銀賞 3名】



1年1組 鈴木 綾乃 さん 「氷を使ったアイスの研究」【銀】

大好きなアイスが氷と塩でできると知り「自分でも作ってみたい」と思い実験しました。氷と色々な種類の塩、塩に似た白いものを使いアイスができるのかを調べました。氷と塩を合わせるととても冷たくなり、アイスを作ることができました。



4年1組 齊藤 樹元 さん 「ダンボールクーラー」【銀】

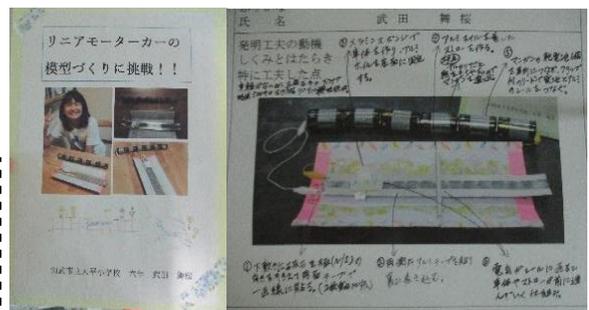
毎日蒸し暑い日が続いているので少しでも涼しくしたいと思い作ることにしました。乾電池の力でモーターが動き、プロペラが回転します。保冷剤を入れて冷たい風が出た時は、とても嬉しかったです。

3年1組 武田 佳桜 さん 「砂糖の温度変化の観察と砂糖から飴を作る実験」【銀】

本を読んでいたらフルーツ飴が載っていて、作ってみたいと思った。砂糖水を温めて変化を観察し、砂糖飴を作ることが目的としました。砂糖水を火にかけると、煮詰められていき、粘りや変化が現れました。この性質を利用して、様々なお菓子を作ることができると分かりました。



【銅賞 1名】



6年1組 武田 舞桜 「リニアモーターカーの模型づくりに挑戦」

車輪がないのに磁石の力だけで時速500キロも出る超電導のリニアに興味を持ったので自分でも作ってみたいと思いました。磁石をレールに敷き、電気を流すことで生まれる「ローレンツ力」がリニアモーターカーの仕組みであることが理解できました。

<お知らせ>

○各学年のたよりに「御感想・御意見」欄を設けています。どんな些細なことでもよいので、どしどしお寄せください。(無記名可)

○QRコードは大平小学校ホームページに繋がります。ダイアリーや思い出のアルバムにはお子様の学校での様子が掲載されています。月の予定や保護者地域の方への案内等もありますので、御覧ください。

